

条件反射制御法学会オンライン研修会 シリーズ2 講義 4

条件反射制御法の基本とステージ進行 重要図

条件反射制御法 (CRCT) の基本

1. 第一信号系に働きかける

1) 行動の方向を司る反射連鎖

2) 行動の駆動を司る反射

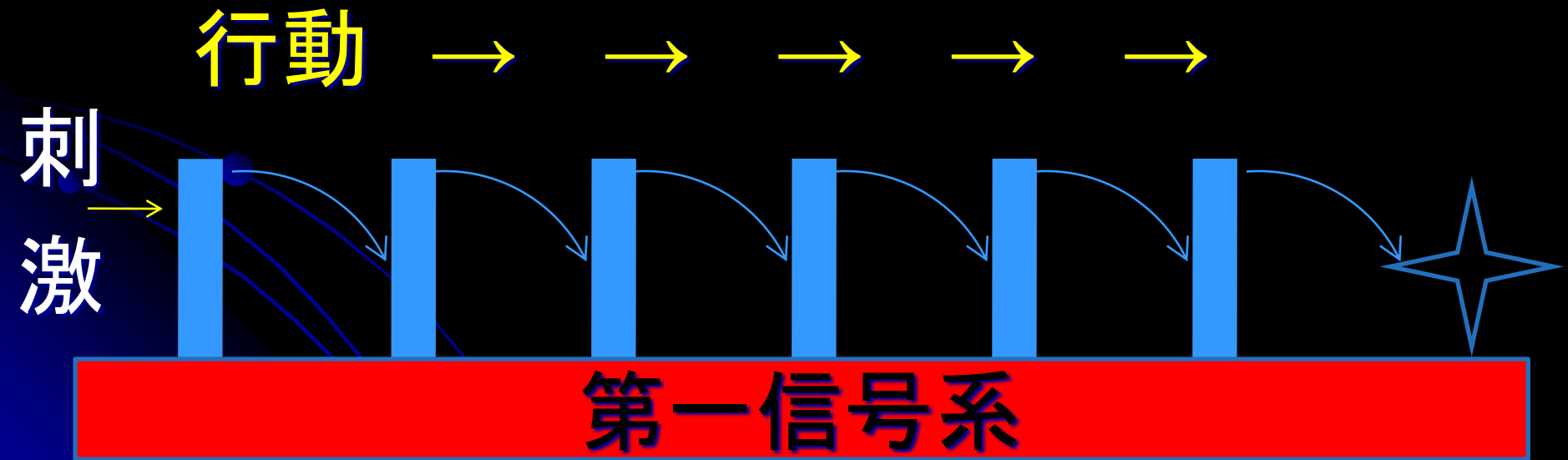
2. 用いる特性

生理的失敗行動の再現性は低下する

生理的成功行動の再現性は上昇する

第一信号系に対して

1. 作用: 1) とめる 2) 弱める。
2. 標的: 1) 特定の反射連鎖
2) 高い駆動性



条件反射制御法のステージ進行

方向性に作用

1. 制御刺激stage

2. 疑似stage

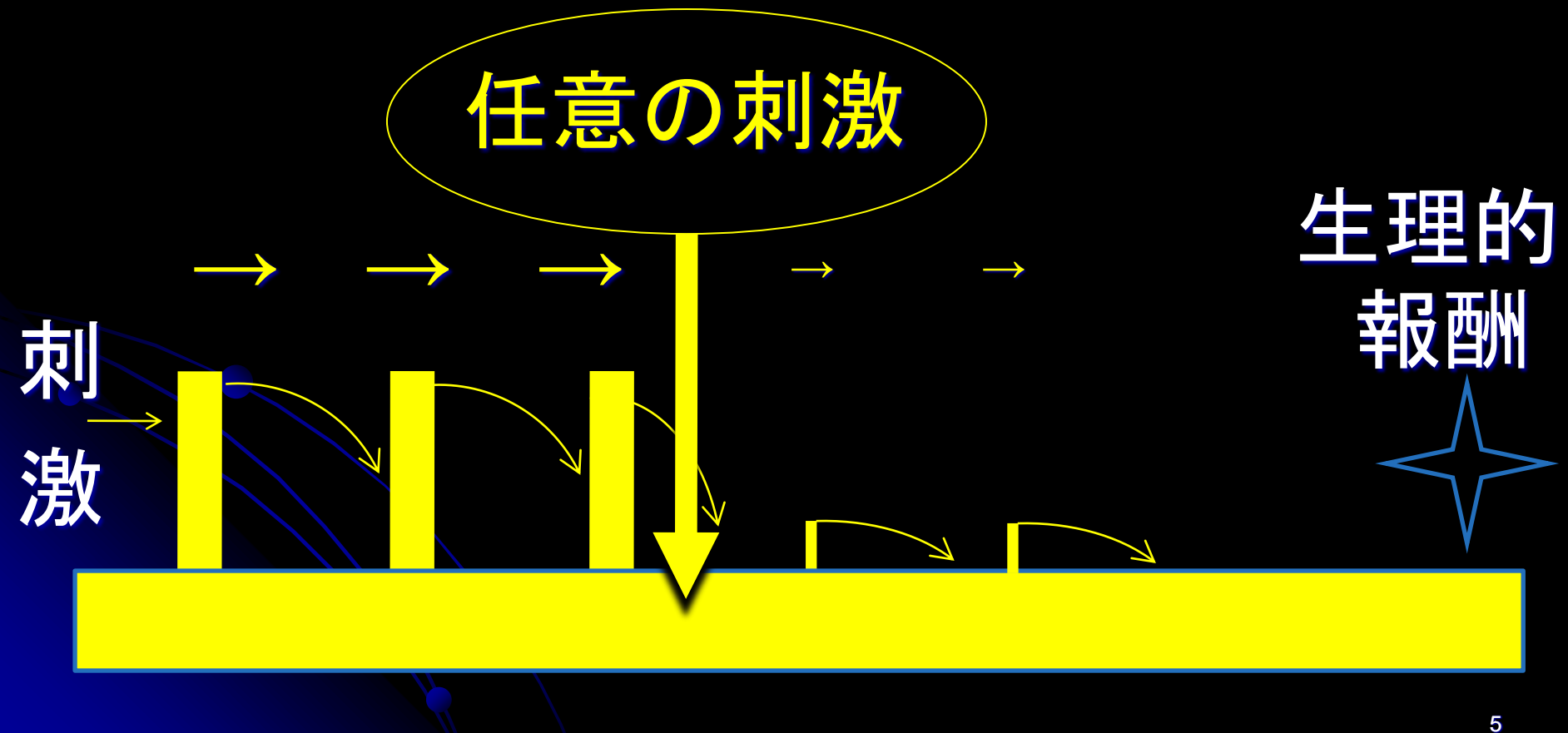
3. 想像stage

4. 維持stage

駆動性に作用

体験の書き出しと
読み返して20単語
書き出し

(任意の刺激+報酬なし) × 反復



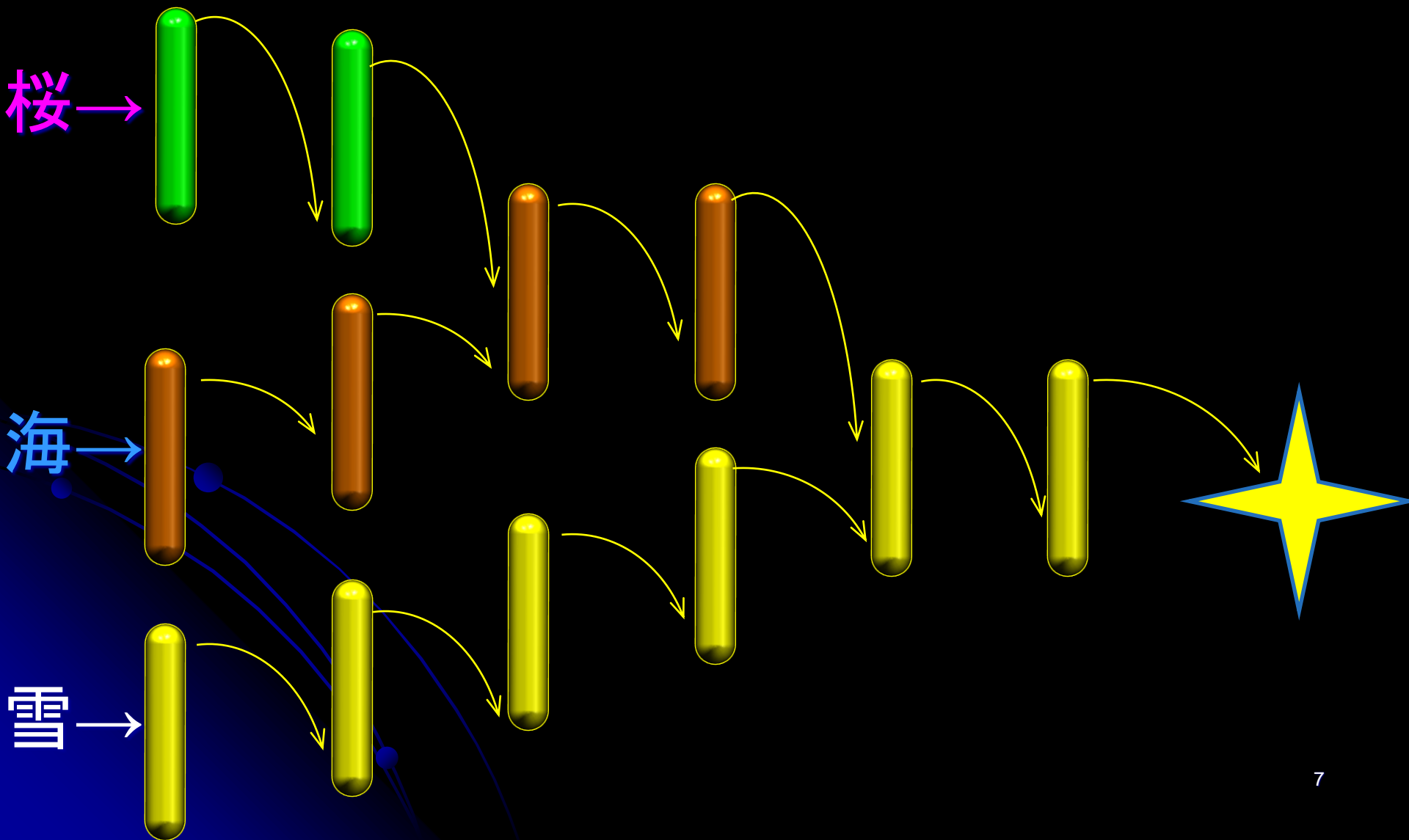
抑制の対象



刺激 →



報酬獲得行動を成立させる 複数の反射連鎖



第一信号系の重要な3つの特性

1. 世代を経て、適応してきた。

先天的な反射は進化的に変化する。

前後or並列する後天反射を抑制する。

2. 季節の変遷へ適応してきた。

一旦抑制されても放置されると回復する。

放置せず、維持ステージで抑制し続ける。

3. 育った環境へ適応してきた。

過酷な環境で育てば、過敏になる。

体験の読返と20単語書出で、抑制する。⁸

条件反射制御法の安全性

- 1) 制御刺激stage 良かった事の書き出し
- 2) 疑似stage 辛かった事の書き出し
- 3) 想像stage 体験読返と20単語書出
- 4) 維持stage 継続

1. 安定状態を招く刺激を開始ステージで設定

冒頭に制御刺激と良好体験の書き出しを行い、制御刺激と環境中刺激を、安定を招くものにする

2. 不安定状態を招く刺激の緩徐な増加

制御 → 疑似 → 想像

体験の書き出しは良の後に辛の順序

3. 治療者による予告と支持。入院や予防策設定。